

やんばるの豊かな自然を守ろう。

ヤンバルクイナなどやんばるに生息する貴重な野生生物がマングースの被害を受けて減少しています。そのため県では、やんばるの豊かな自然を守るため、マングース対策事業を実施しています。



■ヤンバルクイナ (国指定天然記念物)

減り続けるヤンバルクイナ

沖縄本島北部地域いわゆる「やんばる」は、ヤンバルクイナやノグチゲラをはじめ、多くの希少種、固有種が生息するなど、豊かな生態系を形成しています。

しかし、やんばる地域に生息する野生生物達は、近年、侵入してきたマングースに食べられたり、えさを奪われたりして、その生存が脅かされています。

国指定天然記念物のヤンバルクイナについても、マングースに生育環境を奪われ、生息域が北上していることが指摘されてきました。これまでの調査では、昭和六十年から平成十二年の十五年間で、生息域は二十五％に、生息数は千八百羽から千二百羽(※)に激減しています。

※平成十六年、山科鳥類研究所の報告では千羽を切ったとも言われている。

県のマングース対策

やんばる地域(国頭村、大宜味村、東村)から早急にマングースを排除し、ヤンバルクイナなど野生生物の生育域を守ろうと、県では、マングースの北上を防ぐ柵を設置したり、既にやんばるに生息しているマングースを徹底的に捕獲しています。

北上防止柵は、塩屋から福地ダムに至るS-Fラインへの設置を予定しており、昨年度、大宜味村内の設置を終え、今年度は東村内の設置を進めます。昨年度未までのマングース捕獲数は、約六千六百頭。やんばるの自然を守り、私たちの子孫へと継承していくために、今後も環境省とも連携し、マングースの完全排除に取り組んでいきます。

豊かな自然を守るために

県民のみなさんの中で、やんばるに犬や猫を放置した経験のある人はいますか? 「捨て犬」や「捨て猫」は、やがて野生化し、マングースと同じように貴重な野生生物の生息域を脅かし、生態系に影響を与えます。ペットはきちんと管理しましょう。

また、やんばるの行楽地などで食べ物をはたらかしにしている様子が見られますが、マナー違反です。マングースの餌になるのでやめましょう。やんばるの豊かな自然は、沖縄県の財産です。県民みんなで守りましょう。



■リュウキュウヤマガメ (国指定天然記念物)



■イボイモリ (県指定天然記念物)

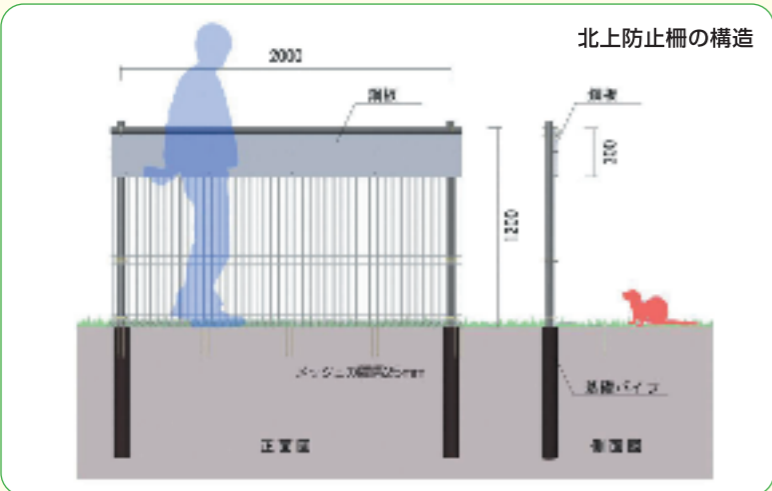


■ノグチゲラ (国指定天然記念物) 県鳥



■捕獲されたマングース

豊かな生物多様性を守るために
マングース北上防止柵の設置



北上防止柵の設置



お問い合わせ

■県自然保護課
TEL:098-866-2243 FAX:098-866-2240

<http://www.pref.okinawa.jp>
目的別メニュー(暮らし・環境)→環境